

## 令和7年度第1回勝浦市地域公共交通活性化協議会会議次第

日時：令和7年6月25日（水）午後2時から

場所：勝浦市役所 4階 大会議室

### 1. 開 会

### 2. 報 告

- (1) 令和6年度協議会事業報告及び決算報告について（P3～7）
- (2) 令和6年度デマンドタクシー運行実績について（P8）
- (3) デマンドタクシー利用者アンケートの実施について（P9）
- (4) 「ノッカルかつうら」実証運行状況について（P10～13）

### 3. 議 題

- (1) 令和8年度地域公共交通確保維持事業に係る地域公共交通計画  
認定申請書の提出について（別冊資料）

### 4. その他

令和7年度勝浦市地域公共交通計画推進業務について（別冊資料）

### 5. 閉 会

令和7年度勝浦市地域公共交通活性化協議会 委員名簿

	所属元役職名	氏 名	備考
1	勝浦市 副市長	加藤 正倫	
2	国土交通省 関東運輸局 千葉運輸支局 首席運輸企画専門官	福浪 新一	
3	千葉県総合企画部交通計画課 地域公共交通担当 課長	伊藤 昌央	欠席
4	勝浦警察署 地域交通課長	齋藤 渉	
5	夷隅土木事務所 所長	宮下 直也	
6	千葉県バス協会 専務理事	成田 斉	欠席
7	千葉県タクシー協会 常任理事 外房支部長	大矢 昌明	欠席
8	東日本旅客鉄道(株) 勝浦駅長	長谷部 雄輝	
9	小湊鉄道(株) バス部長	深山 宏樹	代理出席 松下田 正弘
10	日東交通(株) 鴨川営業所長	松井 大樹	
11	エミタスタクシー南総(株) 取締役支配人	古川 実	
12	小湊鉄道労働組合 書記長	清水 崇志	
13	勝浦市区長会連絡協議会 上野地区会長	関 正美	
14	勝浦市区長会連絡協議会 総野地区会長	渡邊 和夫	
15	勝浦市民生委員児童委員協議会 会長	内田 和夫	
16	勝浦市社会福祉協議会 監事	須金 重治	
17	勝浦市 都市建設課長 (市道・道路管理担当)	栗原 幸雄	
18	勝浦市 福祉課長 (障害者福祉担当)	渡邊 弘則	
19	勝浦市 学校教育課長 (学校教育担当)	紫関 左恭	欠席
20	勝浦市 高齢者支援課長 (高齢者福祉・支援担当)	篠宮 寛敬	

# 令和7年度 第1回勝浦市地域公共交通活性化協議会 座席表

<p>【副会長】 エミタタクシー南総(株) 取締役支配人 古川 実</p> <p>小湊鉄道(株) バスサービス部 副部長 松下田 正弘(代理出席)</p>		<p>【会長・議長】 勝浦市副市長 加藤 正倫</p>	
勝浦市 区長会連絡協議会 上野地区会長 関 正美		国土交通省 関東運輸局 千葉運輸支局 首席運輸企画専門官 福浪 新一	
勝浦市 区長会連絡協議会 総野地区会長 渡邊 和夫		勝浦警察署 地域交通課長 齋藤 渉	
勝浦市民生委員 児童委員協議会 会長 内田 和夫		夷隅土木事務所 所長 宮下 直也	
勝浦市社会福祉協議会 監事 須金 重治		東日本旅客鉄道(株) 勝浦駅長 長谷部 雄輝	
都市建設課長 栗原 幸雄		日東交通(株) 鴨川営業所長 松井 大樹	
福祉課長 渡邊 弘則		小湊鉄道労働組合 書記長 清水 崇志	
高齢者支援課長 篠宮 寛敬		【オブザーバー】 ランドブレイン(株) 小久保 博 土屋 大樹	
<p>【事務局】 企画課 政策推進係 忍足・植村</p>		<p>【事務局】 企画課長 水野 申明</p>	

## 令和6年度 勝浦市地域公共交通活性化協議会 事業報告書

### 会議開催

■開催日 令和6年6月26日 勝浦市役所4階大会議室

#### 報 告

- (1) 令和5年度協議会事業報告及び決算報告について
- (2) 令和5年度デマンドタクシー運行実績について

#### 議 題

- (1) 協議会役員の改選について
- (2) 勝浦市デマンドタクシー運行業務について
- (3) 勝浦市地域公共交通計画の変更について
- (4) 令和7年度地域公共交通確保維持事業に係る地域公共交通計画認定申請書の提出について

■開催日 令和6年8月 5日 勝浦市役所4階大会議室

#### 報 告

- (1) 勝浦市地域公共交通運賃協議会の協議結果について

#### 議 題

- (1) 勝浦市地域公共交通計画の令和6年度評価等結果について

■開催日 令和7年1月30日 勝浦市役所4階大会議室

#### 報 告

- (1) 勝浦市地域公共交通計画における実施事業の進捗状況について

#### 議 題

- (1) 令和6年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について
- (2) 勝浦市地域公共交通計画の変更について

■開催日 令和7年3月24日 勝浦市役所4階大会議室

#### 報 告

- (1) 勝浦市地域公共交通計画推進業務について

#### 議 題

- (1) 事業者協力型自家用有償旅客運送に係る実証運行について
- (2) 令和7年度協議会事業計画（案）及び予算（案）について

### 事業内容

■令和7年度地域公共交通確保維持事業に係る生活交通確保維持改善計画の提出（令和6年6月）

■令和6年度地域公共交通確保維持事業に係る事業評価の提出（令和7年1月）

■勝浦市地域公共交通計画の変更（令和6年6月）

デマンドタクシーの運行拡充に伴い、地域公共交通計画における補助系統等の位置付け補助要件化（計画制度と補助の連動化）に対応するため

■勝浦市地域公共交通計画の変更（令和7年1月）

新たな移動手段の導入検討に対応するため

■勝浦市地域公共交通計画推進業務（ランドブレイン株式会社）

地域公共交通計画の進捗評価・見直し

公共交通を利用したお出かけツアーの検討

モビリティ・マネジメントセミナーの開催

■事業者協力型自家用有償旅客運送に係る実証運行

■地域公共交通計画に係る実施事業の進捗確認・事業評価

令和6年度 勝浦市地域公共交通活性化協議会 収支決算書

1 歳 入

(単位：円)

科 目	予算現額			収入済額	比較	備考
	当初予算額	補正額	計			
1 負担金	341,000	0	341,000	341,000	0	勝浦市地域公共交通活性化協議会負担金
2 補助金	4,031,000	0	4,031,000	4,331,000	300,000	地域公共交通確保維持改善事業費補助金 (国⇒協議会)
4 諸収入	0	0	0	111	111	預金利息
合 計	4,372,000	0	4,372,000	4,672,111	300,111	

2 歳 出

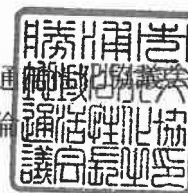
(単位：円)

科 目	予算現額			支出済額	不用額	備考
	当初予算額	補正額	計			
1 運営費	341,000	0	341,000	186,490	154,510	
1 会議費	328,000	0	328,000	180,880	147,120	委員報酬 148,500 委員旅費 32,380
2 事務費	13,000	0	13,000	5,610	7,390	振込手数料 5,610
2 事業費	4,031,000	0	4,031,000	4,331,000	△ 300,000	地域公共交通確保維持改善事業費補助金 (協議会⇒市)
合 計	4,372,000	0	4,372,000	4,517,490	△ 145,490	

歳入総額4,672,111円と歳出総額4,517,490円との差引残額154,621円は、勝浦市一般会計に戻入するものとして、繰越額は0円とする。

令和7年3月31日

勝浦市地域公共交通活性化協議会  
会長 加藤 正倫



# 監 査 報 告 書

令和6年度勝浦市地域公共交通活性化協議会収支決算について、関係帳簿、書類等を審査したところ、その内容は正確であり、事務処理も適正であると認めた。

以上について、勝浦市地域公共交通活性化協議会設置規約第14条の規定により報告する。

令和7年3月31日

監査委員

吉野 安男



監査委員

須金 重治



## 令和7年度 勝浦市地域公共交通活性化協議会 事業計画

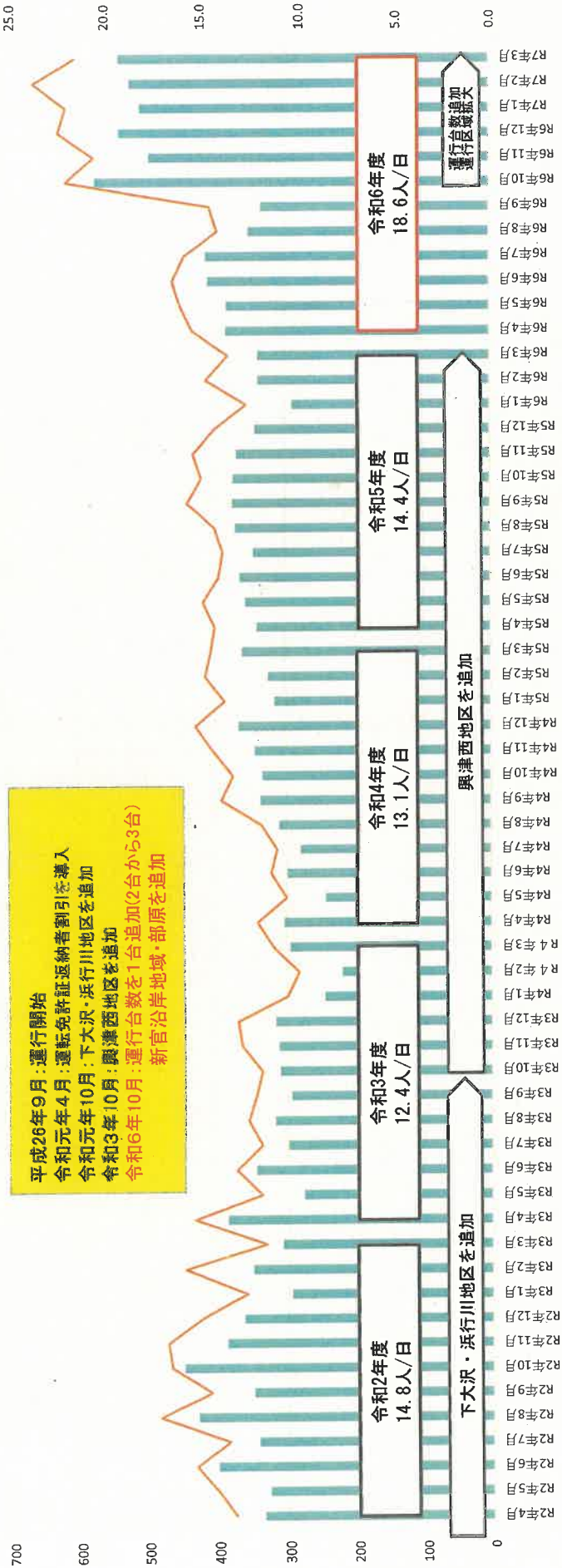
事業内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域公共交通計画に係る実施事業の進捗確認・事業評価</li> <li>■令和8年度地域公共交通確保維持改善事業に係る地域公共交通計画認定申請書の提出（令和7年6月）</li> <li>■令和7年度地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価の提出（令和8年1月）</li> </ul>

会議開催予定
<ul style="list-style-type: none"> <li>■開催日 令和7年6月</li> <li>会 場 未定</li> <li>議題等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度勝浦市地域公共交通活性化協議会事業報告及び決算報告</li> <li>・令和6年度デマンドタクシーの運行実績について</li> <li>・地域公共交通計画に係る事業評価について</li> <li>・令和8年度地域公共交通確保維持改善事業に係る地域公共交通計画認定申請について</li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■開催日 令和7年8月頃</li> <li>会 場 未定</li> <li>議題等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・デマンドタクシー利用者アンケートの実施について</li> <li>・地域公共交通計画の令和6年度評価等結果について</li> <li>・地域公共交通計画における実施事業の進捗状況について</li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■開催日 令和7年11月頃</li> <li>会 場 未定</li> <li>議題等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通計画における実施事業の進捗状況について</li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■開催日 令和8年1月頃</li> <li>会 場 未定</li> <li>議題等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価について</li> <li>・デマンドタクシー利用者アンケートの結果について</li> <li>・地域公共交通計画における実施事業の進捗状況について</li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■開催日 令和8年3月頃</li> <li>会 場 未定</li> <li>議題等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年度勝浦市地域公共交通活性化協議会事業計画（案）及び予算（案）について</li> <li>・地域公共交通計画における実施事業の進捗状況について</li> </ul> </li> </ul>



# デマンドタクシー運行実績

1月当たりの乗車人数（棒グラフ・左目盛り） 1日当たりの乗車人数（折線グラフ・右目盛り）



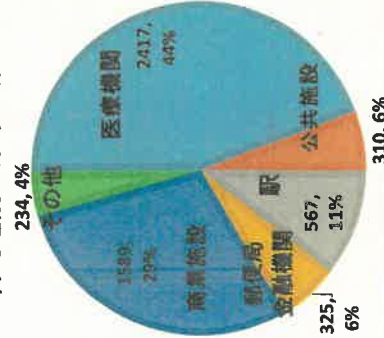
## 【令和6年度運行実績】

- 運行日数 292日
- 乗車人数 5,442人 (前年度比+1,223人)
- 1日当たり乗車人数 18.6人 (前年度比+4.2人)

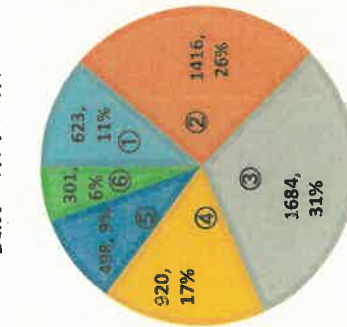
## 【考察】

- 乗車人数が前年度と比較して、1,223人増加しており、1日あたりの乗車数も4.2人増加している。令和6年10月より運行台数を2台体制から3台体制に拡充したことと、路線バスの再編に対応するため、運行区域を拡大したことが主な要因であると考えられる。
- 1日あたりの乗車人数については、勝浦市地域公共交通計画において目標値として掲げた15.0人は達成したが、引き続き、利用者実態動向を把握し、状況に応じて運行区域の拡充や運行ルールの変更などの検討するとともに、利便性の向上を図っていく必要がある。
- 10月以降、運行区域拡大により、御宿町との行き来が可能となり、乗車人数は622人であった。10月以降の全体乗車人数の19.6%の利用が御宿町との行き来であることから需要があると推測される。
- 運転免許返納者の利用率が増加しており、超高齢化社会を向かえ、運転免許の返納者も今後増加することが考えられるため、引き続き、運転免許返納者に対して周知をしていく必要がある。

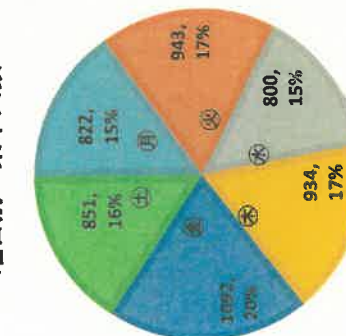
## 目的別・乗車人数



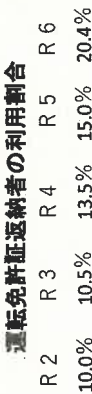
## 便別・乗車人数



## 曜日別・乗車人数



## 運転免許証返納者による利用





## デマンドタクシー利用者アンケート

- 実施時期 令和7年7～8月
- 調査対象 令和6年度及び令和7年度にデマンドタクシーを利用された方(約200名)
- 調査方法 郵送(返信用封筒同封)

No.	ご質問	回答
1	あなたの年齢は？	①10代    ②20代    ③30代    ④40代    ⑤50代 ⑥60代    ⑦70代    ⑧80代    ⑨90歳以上
2	あなたのお住まい地区は？	①勝浦地区（                  区）      ②興津地区（                  区） ③上野地区（                  区）      ④総野地区（                  区）
3	家族に自動車をお持ちの方はいますか？	①いる        ②いない
4	あなたは自動車の運転免許証をお持ちですか？	①持っている        ②持っていない        ③返納した
5	デマンドタクシーの利用頻度は？ ※往復で1回と数えます。	①これまでに数回        ②年に数回        ③週1回程度 ④週2～3回                  ⑤週4回以上
6	「行き」は何便を利用することが多いですか？	①1便(8:00)    ②2便(9:30)    ③3便(11:00or11:45) ④4便(13:30)    ⑤5便(15:00)    ⑥6便(16:30)
7	「帰り」は何便を利用することが多いですか？	①1便(8:00)    ②2便(9:30)    ③3便(11:00or11:45) ④4便(13:30)    ⑤5便(15:00)    ⑥6便(16:30)
8	目的地はどこが多いですか？	①病院・診療所                  ②商業施設                  ③公共施設 ④駅                                  ⑤金融機関                  ⑥その他
9	追加して欲しい共通乗降場所がありますか？	①ない    ②ある(施設名：                                  )
10	運行日(月～土曜日)に満足していますか？	①満足    ②やや満足    ③普通    ④やや不満    ⑤不満
11	現在の予約方法についてどう思いますか？	①現在のままでよい    ②スマホ等によるオンライン予約の導入
12	現在の支払い方法についてどう思いますか？	①現在のままでよい    ②キャッシュレス決済の導入
13	デマンドタクシーの不満点は何ですか？ ※複数選択可	①始発便が遅い    ②最終便が早い    ③便数が少ない ④運賃が高い        ⑤予約が面倒 ⑥希望時刻に目的地に着かない ⑦その他(                                  )
14	予約センターや運転手の対応に満足していますか？	①満足    ②やや満足    ③普通    ④やや不満    ⑤不満 具体的には?(                                  )
15	デマンドタクシーの運行について総合的に満足していますか？	①満足    ②やや満足    ③普通    ④やや不満    ⑤不満 具体的には?(                                  )
16	今後のデマンドタクシーの利用意向を教えてください。	①今後も変わらずに利用すると思う    ②頻度が減ると思う ③利用しない 理由(                                  )
17	デマンドタクシーに関し、お気づきの点やご提案などありましたらご自由にお書きください。	

—アンケートにご協力いただきありがとうございます—  
同封の返信用封筒を使用し、郵便ポストに投函してください。

# 「ノッカルかつうら」実証運行状況について (自家用有償旅客運送)

## ■マイカー乗り合い公共交通検討の背景

### 【総野地区における交通課題】

- ・路線バスのダイヤはある程度充実しているものの、高齢者の日中移動、バス停から離れた地域への対応が不十分である。
- ・自家用車への依存度が高く、公共交通には、生活実態に合わせた目的地・ダイヤが求められている。

### 【課題解決の方向性】

- 公共交通空白地域を解消し、持続可能な形で公共交通全体の利便性を向上させるため、
  - ・地域資産である住民の自家用車を活用し
  - ・既存路線バスを補完する形で
  - ・住民の生活実態に合った
- 交通サービスの設計・運行を目指す必要があるため、共助型の交通システムとしての自家用有償旅客運送（ノッカルかつうら）を導入することとした。

## 「ノッカルかつうら」とは？

### 地域の助け合いの気持ちを形にした新しい公共交通サービスです 住民がドライバーとなり、自家用車で送迎を行います

総野地区の一部地域と勝浦市街地を行き来したい方が、住民ドライバーの運転するマイカーに乗っかり目的地まで移動する、住民同士の助け合いによる新たな移動手段で完全予約型の乗合交通です。利用する際は、事前にLINEもしくはお電話での予約が必要です。

### 時刻表

実証運行中のため、水曜日と金曜日のみ運行（無料）

ゆき (各地域から)			かえり (外出先から)		
便	乗り場	行き先	便	乗り場	行き先
※ 9:00	蟹田・松野・ 中倉・市野川・ 花里の各停留所	ノッカル 松野バス停 勝浦診療所 ここからは路線バスを利用 勝浦市街地へ 松野バス停から 9:23発の路線バスに 乗り継ぎできます	※ 10:20	松野バス停 勝浦診療所	ノッカル 蟹田・松野・ 中倉・市野川・ 花里の各停留所
10:00	蟹田・松野・ 中倉・市野川・ 花里の各停留所	ノッカル 勝浦駅 勝浦市役所 塩田病院 ベイシア勝浦店 ウエルシア勝浦新官店 勝浦整形外科	12:00	勝浦駅 勝浦市役所 塩田病院 ベイシア勝浦店 ウエルシア勝浦新官店 勝浦整形外科	ノッカル 蟹田・松野・ 中倉・市野川・ 花里の各停留所
			※ 12:50	松野バス停 勝浦診療所	ノッカル 蟹田・松野・ 中倉・市野川・ 花里の各停留所

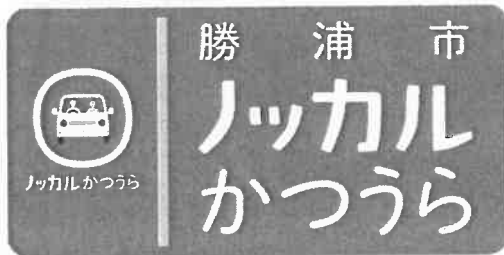
※【ゆき】9:00発と【かえり】10:20発、12:50発は、路線バス乗り継ぎ便となります。

◆停留所の場所はお問合せください（ドライバーの都合により運休となる場合があります）

# マイカー乗り合い公共交通サービス 「ノッカルかつうら」

【利用実績】令和7年3月26日から6月20日まで  
運行日：毎週水曜日・金曜日（3/26から実証運行開始）

項目	内容
運行エリア	蟹田・松野・中倉・市野川・花里地域
利用料金	実証期間中は無料 ※実証期間（R7年9月末）
ドライバー登録者数	3名（松野・中倉・市野郷）
利用者登録者数	14名（うち免許返納者：3名）
LINE登録数	5名
運行利用実績	3/26～6/20の水曜日・金曜日（26日間） 12日間運行（水曜日8日間・金曜日4日間） 【内訳】25回・40名 3月（3/26②・3/28④） 4月（4/9②・4/11②・4/18②・4/30④） 5月（5/7②・5/14④） 6月（6/4⑥・6/11④・6/13④・6/18④）
事故・トラブル	0件
主な目的地	ベイシア勝浦店
主な運行利用時間帯	10時（総野地区⇒勝浦市街地） 12時（勝浦市街地⇒総野地区）
利用者の居住地	松野・花里
利用者の年齢層	71歳～90歳
予約なしによる運行休止日	7日（4/16、4/25、5/2、5/9、5/16、6/6、6/20）



## ■今後のスケジュール

- ・ドライバー募集及び実証運行地区住民に対する説明会（利用促進に向けた取組）
- ・令和7年9月まで（予定）の実証運行を踏まえ、アンケート調査を実施し、検討・課題の整理を行い、(株)博報堂とともにサービス設計・運行設計のプランニングを行う。
- ・運賃及び予約・運行管理業務委託の検討
- ・令和7年度中の本格運行（有償）に向けた各種準備（運輸局に提出する書類の整理）
- ・その他必要事項について、既の実績のあるノッカルサービスの知見・経験を活かし、(株)博報堂と連携しながら、「ノッカルかつうら」の本格運行に向け取り組んでいく。



# マイカー乗り合い公共交通サービス 「ノッカルかつうら」 勝浦市総野地区の一部地域にて実証運行中 ドライバー募集！

## 募集 要件

まちと暮らしを支える公共交通の担い手として、  
ご協力いただける方を募集しています。

### 【ドライバーの主な要件】

- 年齢が21歳以上80歳未満の方
- 普通自動車運転免許の取得後3年以上経過しており、過去2年以内に免許停止処分がない方
- 任意保険（対人対物無制限、同乗者補償3千万円以上）に加入の方  
※自家用有償旅客運送自動車保険を市で加入します。
- スマートフォン又はタブレットをお持ちの方
- 心身ともに健康の方
- 関係法令を遵守し、安全運転に努めていただける方

### 【持込車両の主な要件】

- 定員4人以上で、後部座席を容易に利用できること（軽自動車も可）
- 車検や法定検査（12ヶ月点検）を受けていること

募集人数 5名



### 「ノッカルかつうら」とは？

地域の助け合いの気持ちを形にした新しい公共交通サービスです。

住民がドライバーとなり、自家用車で送迎を行います。

※実証期間中は、運賃無料で運行しております。

お申込み・お問合せ先

勝浦市役所 企画課 政策推進係

TEL：0470-73-6654

E-mail：seisaku-k@city-katsuura.jp



ノッカルかつうら

勝 浦 市

ノッカル  
かつうら

## 事業内容

当該地域の交通空白時間帯の移動手段の確保を目的に、一般ドライバーが自家用車を使って地域住民を運ぶ「公共ライドシェア」の実証運行を行っております。今回の実証運行の結果をもとに、令和7年度中の本格運行について検証します。

## 業務内容

配車アプリを活用した自家用車による運送

■運行日 毎週水曜日と金曜日

■運行時間 9時・10時・10時20分・12時・12時50分

■運行エリア 蟹田・松野・中倉・市野川・花里の各停留所



松野バス停・診療所・勝浦市街地

■運行方法 事前予約に基づく定時定路線運行

※ドライバーの都合により運休となる場合があります。

※上記は、実証運行の予定であり、今後内容が変更になる可能性があります。

## 募集人数

5名

## その他

■運行に必要な備品（アルコールチェッカー・車両の表示物）は市が貸与します。

■国土交通大臣認定講習（交通空白地有償運送運転者講習）を受講していない方は、登録後、講習を受講していただきます。

※2種免許所有者は受講する必要はありません。

■実証運行期間中につき、市よりドライバー報償費を支払いいたします。

総野地区の各停留所 ⇔ 勝浦市街地 1運行あたり300円

総野地区の各停留所 ⇔ 松野バス停・勝浦診療所 1運行あたり200円

## 申込方法

■ご協力いただける方は、勝浦市役所企画課へご連絡くださいますようお願いいたします。書類審査の後、登録を決定します。

■登録申込書、運転免許証のコピー、車検証のコピー、自賠責保険証明書のコピー、任意保険証書のコピー、反社会的勢力に関係していないことの誓約書





様式第 1－1（日本産業規格 A 列 4 番）

勝 交 活 第 3 号  
令和 7 年 6 月 日

国土交通大臣 殿

勝浦市地域公共交通活性化協議会  
千葉県勝浦市新官 1 3 4 3 番地 1  
会 長 加 藤 正 倫

地域公共交通計画認定申請書

地域公共交通計画のうち、地域公共交通確保維持事業に係る計画を別紙のとおり定めたので、  
関係書類を添えて申請します。

※本申請書に、記載すべき事項を全て記した地域公共交通計画を添付すること。

## 勝浦市地域公共交通計画

### 地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統）に関する記載箇所一覧表

1. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の地域の公共交通における位置づけ・役割
勝浦市地域公共交通計画 72・73・74ページ 御宿町地域公共交通計画 47・48・49ページ
2. 前号を踏まえた地域公共交通確保維持事業の必要性
勝浦市地域公共交通計画 73ページ 御宿町地域公共交通計画 54ページ
3. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統に係る事業及び実施主体の概要
勝浦市地域公共交通計画 63・64・78ページ 御宿町地域公共交通計画 52・54ページ
4. 地域公共交通計画の区域内全体における地域旅客運送サービスの利用者の数、収支、費用に係る国又は地方公共団体の支出の額その他の定量的な目標・効果及びその評価手法
勝浦市地域公共交通計画 85・86・87ページ 御宿町地域公共交通計画 51ページ

（添付資料）

・上記記載の地域公共交通計画の該当ページ（写し）

※ご参考

・要綱第17条第1項

陸上交通（地域内フィーダー系統）に係る地域公共交通確保維持事業（以下この条において単に「地域公共交通確保維持事業」という。）を行う場合は、地域公共交通計画に、当該地域公共交通計画の計画期間内における次に掲げる事項について具体的に記載するものとする。

- 一 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の地域の公共交通における位置づけ・役割
- 二 前号を踏まえた地域公共交通確保維持事業の必要性
- 三 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統に係る事業及び実施主体の概要
- 四 地域公共交通計画の区域内全体における地域旅客運送サービスの利用者の数、収支、費用に係る国又は地方公共団体の支出の額その他の定量的な目標・効果及びその評価手法

# 勝浦市地域公共交通計画

(令和5年度～令和8年度)

令和5年(2023年)2月

(令和6年6月改定)

勝 浦 市

## 2-7 交通事業者アンケート調査

交通事業者を対象に、定性的な利用特性や、現在抱えている課題、利用者などから寄せられている意見・要望などを把握するためのアンケート調査を行った。

<b>調査対象</b>	・鉄道：東日本旅客鉄道㈱	・高速バス：日東交通㈱
<b>関係者</b>	・路線バス、デマンドタクシー：小湊鐵道㈱	・タクシー：エミタスタクシー南総㈱
<b>調査方法</b>	・調査方法…メールか郵送による配布、回収	
	・調査期間…令和4年10月中旬～下旬	

### 【交通事業者アンケート結果のまとめ】

<b>鉄道 (東日本旅客 鉄道㈱)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日は、勝浦駅では通勤者が7～8時頃及び17～18時頃に、中学生が7～8時頃、15～16時頃に多い。鵜原駅、上総興津駅では、中学生の利用が7～8時頃、15～16時頃に多い。休日は、勝浦駅、鵜原駅、上総興津駅で9～12時頃、14～17時頃に観光客の利用が多い。</li> <li>・地域活性化の取り組み（「涼風 勝浦」をPRしマスコミからも注目、駅からハイキングの開催、JREMALL イベント商品発売、イベント開催、レンタルバイクによる二次交通整備等）を行う。</li> <li>・お客さまご利用状況に応じた列車ダイヤの策定、不要設備スリム化の検討を行う。</li> <li>・利用者からは、次期ダイヤ改正において、運行本数の削減があるのか、ポケットサイズ時刻表が欲しい等の意見が挙がっている。</li> <li>・勝浦市の地域活性化施策、町づくりに積極的に協力していきたい。</li> <li>・地域交通として鉄道ネットワークを維持するためには、ステークホルダーの協力が欠かせない。ボランティアによる駅清掃や、駅舎の活用等、マイレールの意識の醸成にもつながる利用促進および維持管理の取り組みにも協力いただきたい。</li> <li>・地域公共交通会議等を通じ、バス等だけでなく鉄道の課題についても地域と一緒に議論し、地域公共交通計画に鉄道の持続可能性向上に関する課題及び対策の記載なども検討いただきたい。</li> </ul>
<b>高速バス (日東交通㈱)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御宿6:02発の便は、「たけゆらの里」「大多喜」「市原鶴舞BT」から通勤者が多い。全体的には高齢者の利用が多い。</li> <li>・利用者や市民からは、便数を増やしてほしいという意見が挙がっている。</li> <li>・燃料の高騰につき、燃料費の補助があると良い。</li> </ul>
<b>路線バス (小湊鐵道㈱)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日は、8時頃及び14時～16時頃は通学の児童生徒が、9時～14時頃は買い物や通院の高齢者の利用が多い。休日は、買い物客と観光客が主に利用している。</li> <li>・路線補助を市から頂く中でも赤字での運行となっており、赤字路線として維持することが難しくなっている。</li> <li>・乗務員の不足に加え、外房地区は定年後再雇用の嘱託社員が多く、乗務員高齢化問題が内房地区の営業所よりも深刻。</li> <li>・車両の経年劣化による代替では、大型車両から中型車両へのダウンサイジングを検討するも、各種メーカーのトラブルにより代替が計画通りに行われていない。</li> <li>・キャッシュレス決済は、イニシャル・ランニングコストの両面からICの導入をしても、費用の回収が難しい。IC以外のキャッシュレス決済も含めて導入について検討するが、導入コスト運用コストが回収できるか不安がある。</li> <li>・人口減少により乗客の減少、コロナウイルス影響で路線収入は減少するも、令和3年度以降、観光客増加の影響もあり、運送収入が好転するも、一般路線においては</li> </ul>

	<p>依然赤字路線となっており、コロナウイルス影響前の水準に戻っていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土日祝日の勝浦駅周辺（朝市の時間帯）夏季の海水浴場周辺は混雑が激しく、定時運行の妨げになっている。</li> <li>・勝浦若潮高校前～市役所周辺は道幅が狭く、住宅街でもあるため運転が危険。</li> <li>・今後の収支状況によっては路線バス系統の再編、便数の減少、系統や路線を廃止しデマンドエリア拡大も考えたい。</li> <li>・経営改善のため運賃の値上げや、人員不足解消に向け、積極的に採用活動の機会を増やすことを検討している。また、労働時間などを見直した新しい雇用体験も検討していく。</li> <li>・勝浦ミレーニア線において、昼の時間帯で買い物の時間を長く確保するよう時刻の変更または、増便を望む声が一部市民からあったが、現在の収支状況および人員体制で増便をすることが難しく、また 14 時以降は生徒児童の通学で利用する時間帯となるため、時間移動も難しい。</li> <li>・乗務員の不足や高齢化に加え、令和 6 年度からは休憩時間も長くなり、今まで通りのバスの運行も厳しくなる。また人口減少により路線バスの収入も減っていくことが予想され、全ての路線をこのまま維持することは難しく、系統・路線を廃止しデマンドへの移行を検討すべき地域も出てくる。その中で、系統・路線の存続自体について市とも話合いたい。</li> </ul>
デマンド タクシー (小湊鐵道線)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院への通院、およびスーパー等の商業施設への利用が大半。</li> <li>・路線バス同様、乗務員の不足と高齢化が課題。</li> <li>・ワゴンタイプの輸送のため、狭い道への進入ができず、回転もセダントypeよりもスペースを要する。</li> <li>・運行サービスの見直し検討にあたっては、デマンド拡張と路線バスの縮小及びデマンドタクシーの台数および予約システムについて留意が必要。</li> <li>・バス路線・系統の廃止と併せたデマンドタクシーの運行エリア拡大についての検討を行いたい。</li> </ul>
タクシー (エミタスタ クシー南総線)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両保有台数は 19 台、運転者数は 18 人、営業時間は 8 時～17 時となっている。</li> <li>・利用者は月曜日の午前中、金曜日と土曜日の午前中及び 16 時以降に多く、高齢者の病院や買い物利用が多い。</li> <li>・利用者からは、配車希望の電話から時間を要することが多々あり、タクシーの台数や運転手を増やしてほしいとの要望が多く、需要回復に応じて採用活動を再開。</li> <li>・高齢者からはタクシー利用料の負担が大きく、福祉券の発行枚数を増やしてほしい等の意見が挙がっている。</li> <li>・若手の運転手不足で乗務員の確保が課題となっている。</li> <li>・LP ガス以外で稼働する車両の入れ替えで費用が増える見込み。</li> <li>・お客様の利便性向上、社内の環境改善の観点から、バリアフリー車両や乗務員確保のための広告宣伝、福利厚生への向上への取組み推進、24 時間営業への変更、クレジットカード支払いへの対応、タクシーアプリ配車への対応等に取り組んでいる。</li> <li>・コロナの影響で、経営上のダメージが大きく、安定的な経営維持の見通しが不透明。デマンドバスの拡大にあたっては、タクシー事業の存続も危ぶまれる中で、デマンドバス事業への参入することで、双方の需要バランスを取りながら運営を行っていきたいと考えている。</li> </ul>

## (2) 公共交通網のあり方

### 1) 公共交通再編の基本的な考え方

勝浦市の公共交通ネットワークは、基本理念である「生活しやすいまちづくりを支える公共交通網の構築」に向けて、次の5つに事項に重点を置き、効率的で利便性の高い公共交通網の構築を目指す。

- ①広域アクセス（鉄道、高速バス、路線バス）と地域内交通（路線バス、デマンドタクシー）との組合せによる輸送効率の向上の実現
- ②観光ニーズへの対応
- ③亀田総合病院（鴨川市）等市外移動ニーズへの対応
- ④交通結節点の機能強化による公共交通機関同士の相互連携の実現
- ⑤観光資源や商業施設などまちづくりと一体的な公共交通の実現

### 2) 各公共交通機関の役割

勝浦市は東西に約 14.0 km、南北に約 12.5 kmと東西に長い市域となっており、目的地・外出パターンに合った直行性を追求した公共交通網では、路線長が長大となるため、利便性や効率性などの低下が懸念される。

そのため、各公共交通機関が提供するサービスの特徴を最大限に発揮し、適切な役割分担のもと緊密に連携しながら、効率的で利便性の高い公共交通網の構築を目指す。

デマンドタクシーについては、国土交通省による地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）による補助金を受けて運行を維持する。

#### ■各公共交通機関の機能分担

分類		交通機関	位置付け・役割	移動量・距離※	
				都市間	市内
幹線	広域幹線公共交通	・鉄道（JR 外房線） ・高速バス（安房小湊・御宿～東京線）	・都市間を連絡し、広域的な移動を担う交通	◎	△
	幹線公共交通	路線バス	・勝浦駅と市内や大多喜を結ぶ移動を担う交通	○	○
支線	地域内公共交通	デマンドタクシー	・勝浦市内及び生活圏を一体とする御宿町内への移動手段として、公共交通空白地域・公共交通不便地域の解消を担う交通	△	◎
補完公共交通		タクシー	・ドア・ツー・ドアの少量個別輸送を担う移動手段で、個別のニーズに機動的や柔軟的に対応可能な交通	△	○
特定の利用者などの移動を担う交通		スクールバス、大多喜自動車学校送迎バス、東急ゴルフコース送迎バス、介護タクシー	・通学や教習所、ゴルフなど特定の利用者などの移動を担う交通	△	△

※移動量や距離の長さ…◎：多い（長い）、○：やや多い（やや長い）、△：少ない（短い）

### ■地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）を活用したデマンドタクシーの位置付け

<b>役割</b>	勝浦市内及び生活圏を一体とする御宿町内における移動手段として、公共交通空白地域・公共交通不便地域の解消を担う交通で、市街地商店街等へのアクセス性の向上により、買い物支援の役割を担う重要な交通である。
<b>維持・確保策</b>	鉄道（JR 外房線）や路線バスとの連絡を確保しながら、地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）を活用し、持続可能な運行を行う。
<b>必要性</b>	公共交通空白地域等の解消と利用者要望を反映した公共交通体系の維持・確保のため、市の財政負担だけでは運行の維持が難しく、引き続き地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）の活用により、生活交通手段を確保・維持する必要がある。

### 3) 交通結節点のあり方

効率的で効果的な地域公共交通網の構築を目指す上で、交通結節点は、幹線、支線、補完公共交通の接続性を高める重要な役割を担うため、情報提供、乗継負担の軽減などを考慮する必要がある。交通結節点は、幹線同士、あるいは幹線・支線の乗継が可能な場所で、「勝浦市都市計画マスタープラン」の将来都市構造で「都市交流拠点」や「地域交流拠点」に位置付けられている「勝浦駅」と「上総興津駅」とする。



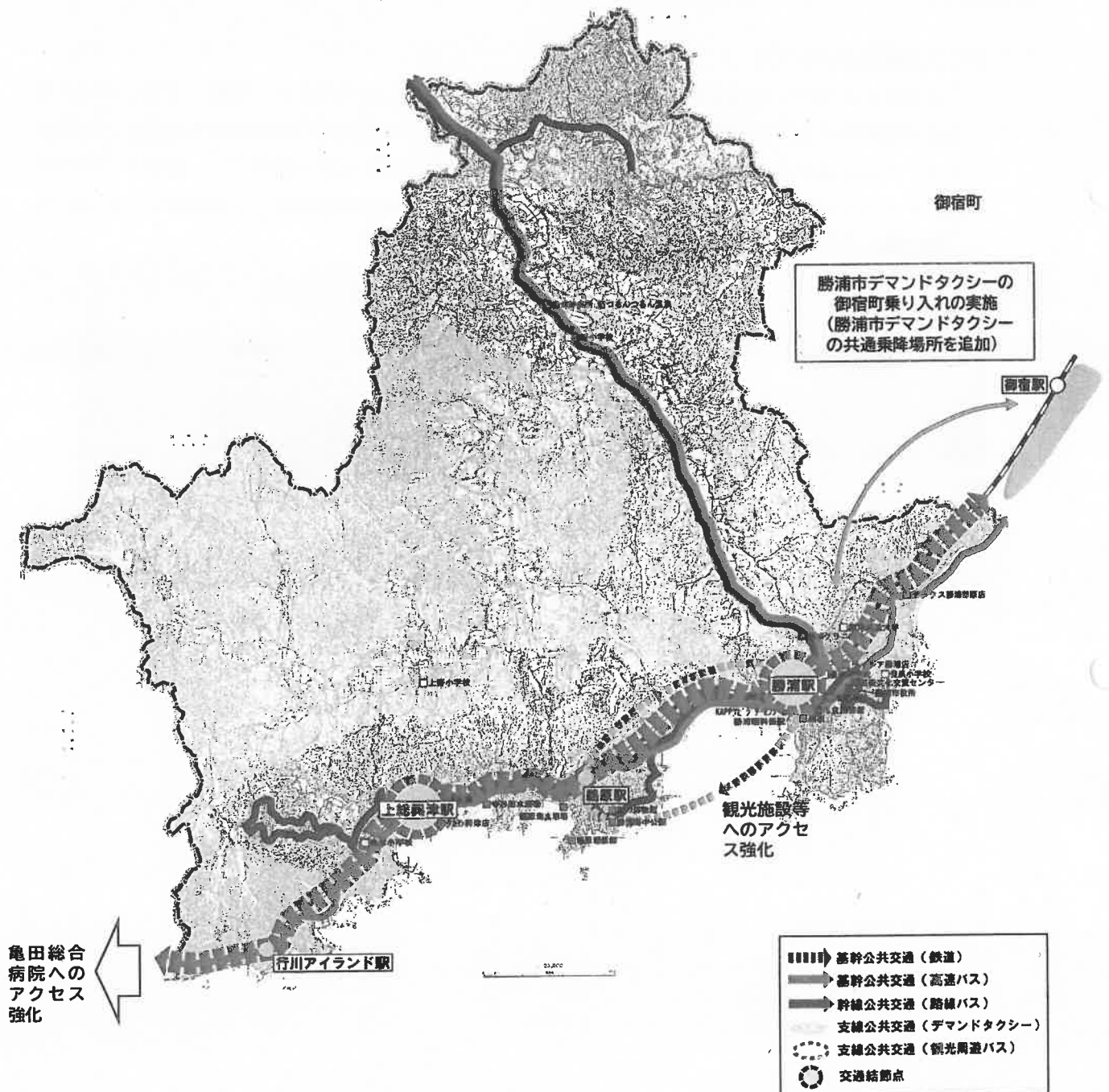
勝浦駅



上総興津駅

## ■公共交通骨格形成イメージ

- ①広域アクセス（鉄道、高速バス、路線バス）と市内交通（路線バス、デマンドタクシー）との組合せによる輸送効率の向上の実現
- ②観光ニーズへの対応
- ③亀田総合病院（鶴川市）等市外移動ニーズへの対応
- ④交通結節点の機能強化による公共交通機関同士の相互連携の実現
- ⑤観光資源や商業施設などまちづくりと一体的な公共交通の実現





#### (4) 実施事業の概要

実施事業について、目標ごとに事業概要や実施主体、実施時期を整理する。

### 目標① 市内の移動支援の充実

#### 【事業1】デマンドタクシーの運行サービスの見直し

##### ①事業概要

デマンドタクシーについては、利用者数が増加傾向で行政負担額が増加傾向となっている中で、路線バスやタクシーとの役割分担を図りながら、運行地域においては、試乗会や利用方法に関する説明会を開催するなど、利用促進に向けた取組の実施を検討するとともに、利用者のニーズを的確に把握した上で、満足度の高い運行に向けたサービスの見直しを継続的に検討・実施する。

デマンドタクシーは、勝浦市内及び生活圏を一体とする御宿町内における移動手段として公共交通空白地域・公共交通不便地域の解消を担う役割であるため、「地域公共交通確保維持改善事業費補助金（フィーダー補助）を活用し、財源の安定的な確保・維持を目指す。

②実施主体：勝浦市、御宿町、交通事業者、地域

##### ③実施時期

事業	実施項目	実施時期（年度）			
		令和5	令和6	令和7	令和8
デマンドタクシーの 運行サービス見直し	検討、協議・調整	→			
	実施		→	→	→
	フィーダー補助の活用	→	→	→	→

#### ■現行のデマンドタクシー事業及び実施主体の概要

路線名	デマンドタクシー
自由乗降区域	上野地区全域、大沢、浜行川、興津の一部、小松野、大楠、松部・串浜の一部、新官の一部、部原
共通乗降場所	勝浦市内の公共施設、医療機関、商業施設等、御宿町内の乗降場所
事業許可区分	一般乗合（区域運行）
運行態様	予約制・乗合
実施主体	勝浦市（交通事業者へ委託）
補助事業の活用	地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）

## 目標④ 観光施策と連携した移動支援及び利用促進

### 【事業9】観光施設等との連携サービスの導入

#### ①事業概要

まちの賑わいの創出を促すため、観光施設などと連携し、公共交通利用者に対する割引サービスや企画切符などを検討する。

旅行者アンケート調査において、必要なサービスとして「観光地のモデルコースの紹介などの情報案内の充実」が41.5%と1番多くなっている。公共交通に乗り慣れていない観光客に対して、公共交通を利用して安心かつ抵抗なく目的地に移動できるよう、公共交通を利用した「おでかけモデルプラン」を作成し、市ホームページへの掲載などにより需要の掘り起こしを図る。

また、旅行者アンケート調査において、必要なサービスとして「周遊バスなど観光地を巡るバスの導入」が37.0%と2番目に多くなっている。観光客が多く訪れているかつうら海中公園・海中展望台や海水浴場、勝浦朝市等の、勝浦市内の観光地を巡る周遊バスの運行や、夜間の飲食客の足の確保について検討する。

②実施主体：勝浦市、交通事業者、観光関連施設

#### ③実施時期

事業	実施項目	実施時期（年度）			
		令和5	令和6	令和7	令和8
割引サービス・企画切符などの導入	企画内容検討	→	→		
	実施			→	→
おでかけモデルプランの作成	プラン検討・作成	→	→		
	周知PR			→	→
観光周遊バス等の運行の検討	検討・協議・調整・実施	→	→	→	→

### 【事業10】ICTを活用した効率性及び利便性の向上

#### ①事業概要

地域公共交通を取り巻く社会情勢が大きく変革している中で、あらゆる人がシームレスに移動できることを目的に、MaaSによる「新たな移動」サービスの検討・導入が進められている。

勝浦市では、かつうら海中公園・海中展望台、かつうら海中公園滞在型観光施設「eden」、勝浦朝市、海水浴場などの観光資源が点在しており、既存公共交通機関に加え、観光協会で実施中のレンタサイクルなどの移動手段があるものの、十分機能している状況となっていない。

旅行者アンケート調査において、必要な情報やサービスとして「観光地等でのイベントや施設情報などの統一的な情報の提供」や「観光施設等と公共交通、レンタサイクル等との連携サービス（運賃等）の導入」に対する意見もあるため、MaaSなどICTを活用した新たな移動サービスについて検討する。

また、路線バスやデマンドタクシーなどにおいては、位置情報を伴う運行情報の提供や、AIを用いた配車サービス、運賃支払いにおけるキャッシュレス化などの導入について検討する。

②実施主体：勝浦市、交通事業者、観光関連施設

### ③実施時期

事業	実施項目	実施時期（年度）			
		令和5	令和6	令和7	令和8
I C Tを活用した効率性及び利便性の向上	検討・協議・調整・実施				

## 【事業 11】 分かりやすい運行情報の提供

### ①事業概要

鉄道や路線バス、デマンドタクシーなどの運行情報案内は、交通事業者や行政の情報誌やホームページのほか、インターネット上の一般の経路検索サイトなどで、乗換案内・時刻表・運行情報などの情報が提供されている一方、まだまだ周知が不十分な状況である。

このため、市民や観光客へ公共交通の運行内容を分かりやすく伝えて利用促進を図るため、各公共交通機関の運行経路やダイヤなどを一元的に掲載したホームページを作成するとともに、広報誌・観光ガイドブック等への掲載や、観光関連施設や商業施設等と連携を図りながら、幅広く周知を行う。

②実施主体：勝浦市、交通事業者、観光関連施設、商業施設

### ③実施時期

事業	実施項目	実施時期（年度）			
		令和5	令和6	令和7	令和8
市ホームページにおける交通情報のブラッシュアップ	検討・作成				

## 目標⑤ 地域全体で支える公共交通の構築

## 【事業 12】 意識啓発を促す利用促進活動の展開

### ①事業概要

将来的な利用者となる小・中学生を対象に、鉄道や路線バスの車両を使用した乗車マナーやルール、車内における事故防止などを学習する乗り方教室を開催するとともに、二酸化炭素排出量の削減などにも配慮し、過度な自家用車利用から公共交通利用への転換を促す、モビリティマネジメント活動を地域全体に展開する。

②実施主体：交通事業者、勝浦市、地域

### ③実施時期

事業	実施項目	実施時期（年度）			
		令和5	令和6	令和7	令和8
路線バスの乗り方教室の開催	検討・準備				
	実施				
モビリティマネジメント活動の展開	検討・協議・実施				

# (5) 計画目標の達成状況を評価するための評価指標

計画の達成状況を評価するため、各目標に対し、以下のように評価指標を設定する。

基本方針	目標	評価指標	現状値	目標値	備考
1 広域アクセスや公共交通機関同士の相互連携による利便性の高い公共交通網の構築を目指す	①市内の移動支援の充実	デマンドタクシー1日平均利用者数	12.4人	15.0人	※1
		デマンドタクシーの利用者満足度	53.3%	60.0%	※2
	②移動ニーズに即した広域アクセスの強化	勝浦駅1日平均利用者数	661人	1,000人	※3
		市内停留所における高速バスの年間利用者数	14,633人	26,000人	※4
	③利便性の高い公共交通環境整備	交通結節点整備箇所数	—	2箇所	※5
2 観光需要を考慮した誰もが利用しやすい環境整備による公共交通の利用促進を目指す	④観光施策と連携した移動支援及び利用促進	観光施設等との連携による利用促進活動の導入件数	—	1件以上	※6
3 多様な主体との連携によるまちづくりと一体となった持続可能な公共交通を目指す	⑤地域全体で支える公共交通の構築	乗り方教室開催回数	—	延12回	※7
		デマンドタクシー運行収支率	8.8%	10.5%	※8
		公共交通への公的資金投入額	2,090万円	2,090万円	※9

- ※1 勝浦市総合計画「基本計画」（令和4年度中策定予定）の目標値
- ※2 令和3年度デマンドタクシー利用者アンケート調査の総合的な満足度で「満足」＋「やや満足」
- ※3 勝浦市総合計画「基本計画」（令和4年度中策定予定）の目標値
- ※4 勝浦市総合計画「基本計画」（令和4年度中策定予定）の目標値
- ※5 勝浦駅及び上総興津駅
- ※6 観光施設や商業施設との連携サービスを1件以上実施
- ※7 乗り方教室を市内小中学校（6校）を対象に各校2回実施
- ※8 令和2年度運行実績
- ※9 現況公的資金投入額：バス路線運行維持補助金1,385万円＋デマンドタクシー705万円＝2,090万円

## 6 計画の進行管理

### (1) 目標の達成状況の評価及び社会情勢の変化等に伴う計画の見直し

「勝浦市地域公共交通計画」の推進に当たり、交通事業者の運転手の高齢化や担い手の不足などにより、公共交通ネットワークの維持・確保が困難な状況にある中で、今後人口減少社会における交通事業者の生産性の向上へ向けた移動の仕組みや自動運転などの先進技術開発など「人の移動」に関する社会情勢は大きく変革することが予想される。

このため、社会情勢を踏まえ、目標の達成状況や利用状況などを評価し、必要に応じて見直し、改善する「PDCAサイクル」の仕組みにより進行管理を実施し目標の達成を目指す。

本計画のPDCAサイクルの実行は、「勝浦市地域公共交通活性化協議会」において実施し、施策に係る関係者（市民、交通事業者、行政など）が施策効果の検証結果を共有する。

なお、評価・検証については、「毎年実施するPDCA」と、「計画の最終年度に実施する目標達成度に対するPDCA」による二重の組み合わせで進行管理を行う。

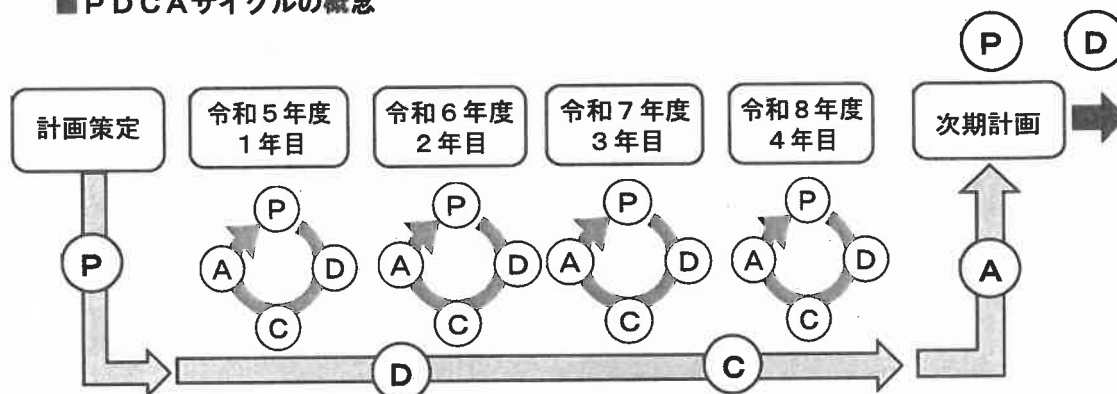
#### ○事業実施状況の評価（年に1回実施）

公共交通への取組や運行状況について、事業の実施状況の評価を毎年度実施する。

#### ○目標達成度の評価（計画期間最終年度に実施）

計画の目標値との比較により、事業の達成状況を検証する。ただし、公共交通の利用ニーズや利便性は、主な目的地である商業施設・病院などの整備、道路改良などのハード整備による周辺状況の変化に影響を受けやすいため、利用状況やニーズなどを把握・分析し、必要に応じて見直し・改善を図る。

#### ■PDCAサイクルの概念



#### ■各PDCAサイクルの概要

項目	事業実施状況の評価	目標達成度の評価
P（計画）	各路線などの運行計画の策定 各種施策の検討	勝浦市地域公共交通計画の策定
D（実行）	地域公共交通の運行 各種施策の実施	計画に掲げる各種施策の実施
C（評価）	運行・利用状況の評価 施策実施効果の評価	各種施策の実行による効果（目標値の達成状況）の評価
A（改善）	運行の見直し 各種施策の見直し	勝浦市地域公共交通計画の見直しの検討

## (2) 評価の方法及びスケジュール

計画期間におけるPDCAサイクルの具体的なスケジュールと、検証するための調査概要は次の通りとする。

本計画の評価は、最終年度（令和8年度）に事業者から提供された利用実績や各種アンケート調査などから、計画及び公共交通網の評価を実施し、実施事業の見直し及び新たな事業を追加し、次期計画を策定する。

公共交通機関の利用状況や本計画に定めた事業の実施結果に関する評価については、毎年度実施するものとする。

### ■評価スケジュール

(年度)

項目		令和5	令和6	令和7	令和8
関連調査 評価方法	利用者数実績・整理	○	○	○	○
	市民アンケート調査				○
	路線バス利用者アンケート調査				○
	デマンドタクシー利用者アンケート調査	○		○	
事業実施状況の評価		○	○	○	○
目標達成度の評価		○	○	○	○
計画・目標値の見直し※					○
勝浦市地域公共交通活性化協議会の開催		○	○	○	○

※必要に応じて適宜計画・目標値の見直しを実施

### ■関連調査概要

種別	主な調査項目
市民アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回答者の属性</li> <li>・日常の移動のしやすさと日常生活の移動実態</li> <li>・公共交通（鉄道、高速バス、路線バス、デマンドタクシー、タクシー）の利用実態と意識・要望</li> <li>・公共交通の今後のあり方</li> </ul>
路線バス利用者アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者属性</li> <li>・利用特性（乗車・降車バス停、往復利用有無、利用頻度、利用目的）</li> <li>・運行サービスの満足度と改善して欲しいサービス</li> </ul>
デマンドタクシー利用者アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者属性、利用特性（利用頻度、目的地）</li> <li>・運行サービスの満足度と不満点</li> </ul>

# 御宿町地域公共交通計画

令和6年6月改定

御宿町地域公共交通活性化協議会

### (3) 公共交通の機能分担

本町の公共交通ネットワークの方向性は、以下の通り4段階に機能分担を図る。

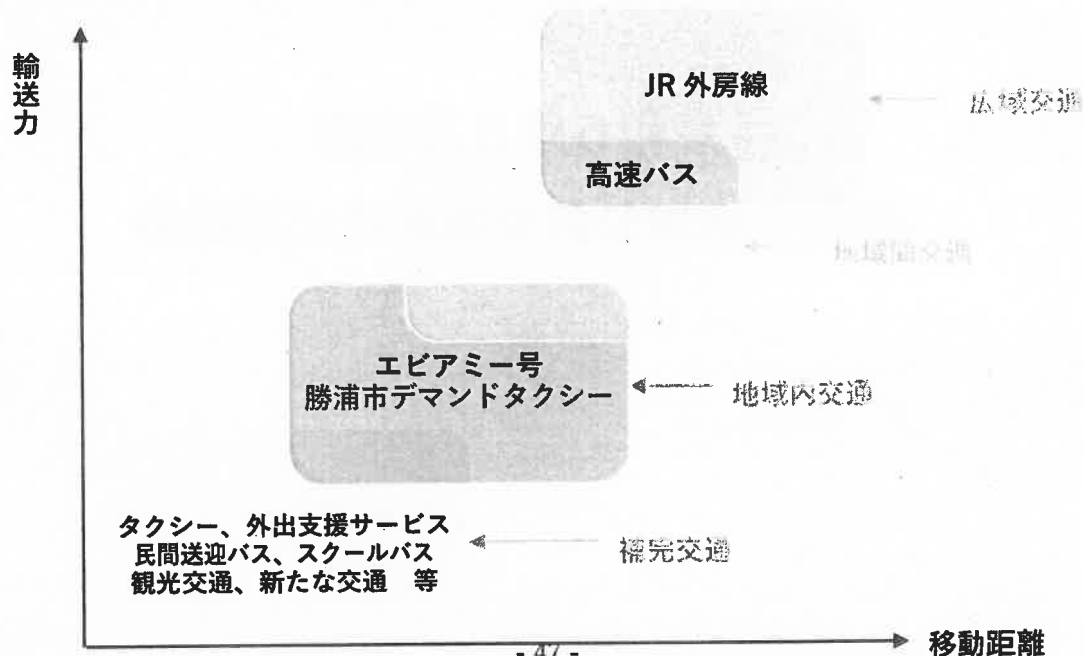
これらの交通結節点としては、御宿駅をはじめ、高速バス、エビアミー号の乗降場所となっている御宿町公民館等を位置付け、既存の公共交通ネットワークを基本としながらこれらを補完する新たな移動手段の導入を検討する。

公共交通機関の相互連携により、住民の生活交通や観光客の目的地までの交通手段としても機能させることで、利便性の向上と効率的な運行を目指す。

#### ■公共交通システムの役割分担の考え方

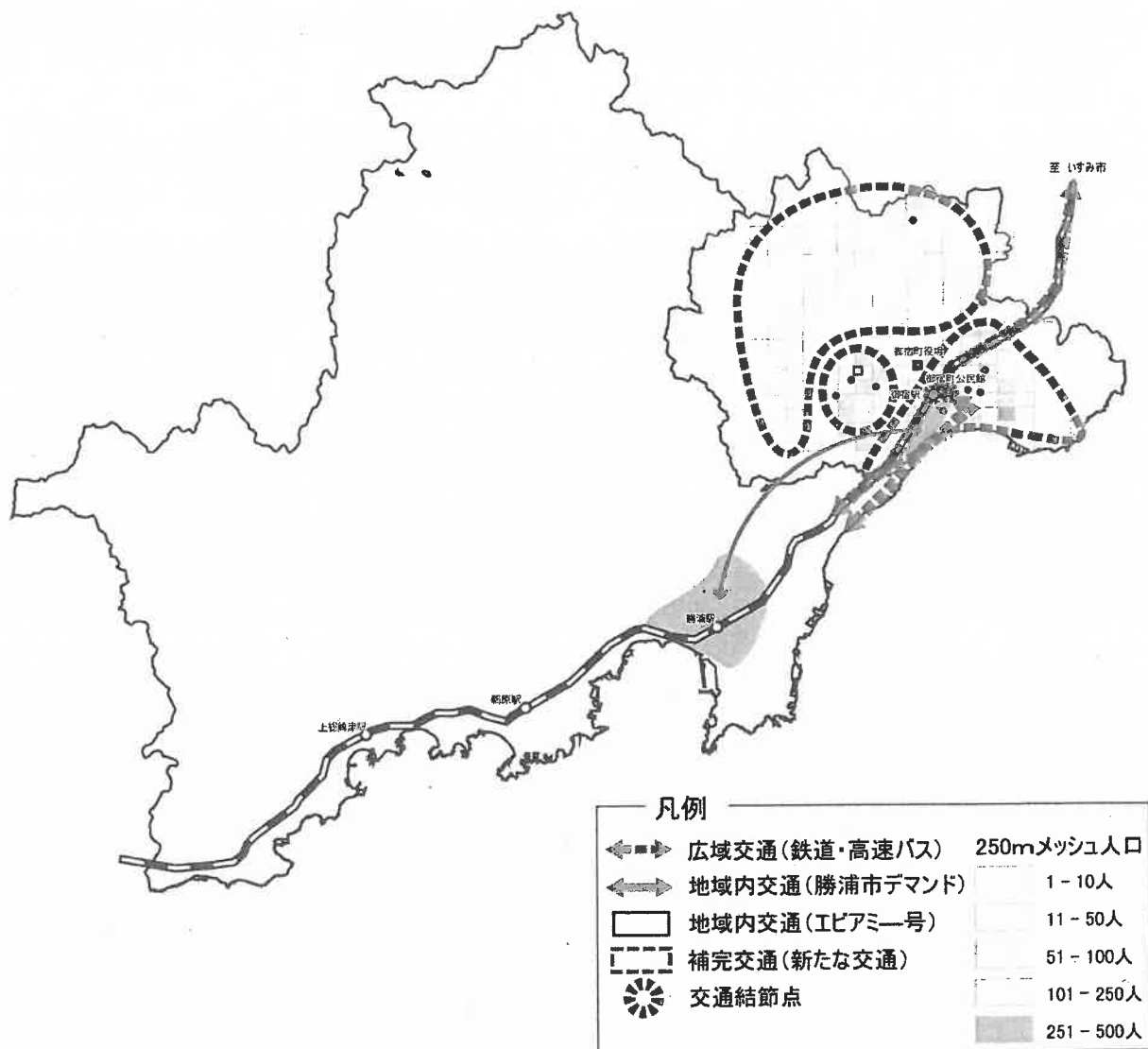
区 分	役割分担	対応公共交通システム
広域交通	○勝浦市といすみ市、東京方面へ連絡し、地域の骨格形成軸となる路線 ○通勤・通学、買物、観光など多様な目的に対応	JR 外房線 高速バス
地域間交通	○近隣市町への連絡及び町内の骨格路線 ○通勤・通学、買物、観光など多様な目的に対応	高速バス（一般乗降化）
地域内交通	○広域交通に接続、地域間路線を補完 ○町内の拠点間へと連絡 ○地域の実情に合わせて主に高齢者の買い物、通院等の目的に対応 ○勝浦市デマンドタクシーの御宿町内への乗入れを実施（令和6年10月）	エビアミー号 勝浦市デマンドタクシー
補完交通	○鉄道、バス交通等を補完し、主に高齢者などのために少量個別輸送を担う移動手段 ○地域の実情に合わせて主に買い物、通院等の目的に対応 ○観光二次交通としての機能整備	タクシー、外出支援サービス 民間送迎バス、スクールバス、 地縁交通(地域の共助)、観光交通、新たな交通 等
交通結節点	○上記交通システムの乗り継ぎ拠点となる御宿駅・御宿町公民館をはじめ、地域の各拠点における乗継ぎ環境機能を強化	御宿駅、御宿町公民館 等

#### ■輸送力と移動距離との関係による町内各公共交通の位置付け





■ 将来ネットワークイメージ



## ■市域の公共交通（各交通モード）が担う役割

位置づけ	公共交通システム	役割	確保・維持策
広域交通 (広域幹線)	JR 外房線 (交通事業者) 高速バス (交通事業者)	勝浦市、いすみ市、 東京方面へ連絡し、 地域の骨格形成軸と なる路線	交通事業者と協 議の上、一定以 上の運行水準を 確保。
地域間交通 (幹線)	高速バス (交通事業者)	近隣市町への連絡及 び町内の骨格路線	
地域内交通 (支線)	<p>エビアミー号 (運行は交通事業者に委託) (御宿町 (運行は交通事業者に委託)) 御宿町には JR 御宿駅があるほか駅周辺 から近隣市をつなぐ路線バス・高速バスが 運行されている。タクシーは基本 1 台で循 環バス等はない。高齢化は県下上位で免許 返納者も増加するなど自家用以外の移動手 段のニーズが高まっており住民の暮らしを 支える基盤として、地域交通の確保維持は 大きな課題である。</p> <p>そのため、町では地域内フィーダー系統 確保維持改善事業により町内全域をカバー する 10 人乗りの乗合運行を維持すること が重要で、引き続き本事業を提供する必要 がある。</p> <p>勝浦市デマンドタクシー 生活圏を一体とする勝浦市への移動手 段を確保するため、勝浦市のデマンドタク シーを御宿町内に乗り入れ、公共交通不便地 域の解消を図る。</p> <p>高齢者等の買い物や通院のほか、広域交 通への接続点につなげ、多様な目的に対応 する。</p>	<p>広域交通・地域間交 通に接続する路線</p> <p>勝浦市への連絡を実 施</p>	地域公共交通確 保維持事業 (フィ ーダー補助) を活 用し持続可能な 運行を目指す。
補完交通	タクシー、外出支援サービス、民間送迎バ ス、スクールバス、地縁交通 (地域の共 助)、観光交通、新たな交通等	鉄道、バス交通等を 補完し、主に高齢者 等のために少量個別 輸送を担う移動手 段	地域住民、交通 事業者と協議の 上、利用ニーズ に応じた運行水 準を確保。

## (2) 評価指標

計画目標に応じた評価をするための指標と目標値を以下の通り定める。

評価指標	定義	現況値 (R4)	目標値 (R9まで)	考え方・効果
公共交通乗 降客数 (※1)	御宿駅（事業者）	790 人/日	830 人/日	事業実施により毎 年 1.0% の「ベースアップ」 を設定
	高速バス（事業者）	67,599 人/年	70,979 人/年	
	エビアミー号（町）	4,791 人/年	15 人/日以上 (360 日) 5,400 人/年  ※以下、単年ごとの目標値 令和 5 年度 15 人/日 (359 日) 5,385 人/年 令和 6 年度 15 人/日 (360 日) 5,400 人/年 令和 7 年度 15 人/日 (359 日) 5,385 人/年 令和 8 年度 15 人/日 (359 日) 5,385 人/年	1 日 15 人程度の利 用者数を維持。 町内全域をカバーす る乗合運行を維持 することにより高 齢者等の日常生活 に必要不可欠な移 動手段が確保され る。また、JR 及び民 間バスといった交通 軸に接続する公共 交通サービスを確保す ることによって外出する 機会促進と地域活 性化にもつながる。
	勝浦市デマンドタ クシー (令和 6 年 10 月か ら運用を開始)	0 人/年	6 人/日以上 令和 6 年度 6 人/日 (144 日) 864 人/年 令和 7 年度 6 人/日 (292 日) 1,752 人/年 令和 8 年度 6 人/日 (292 日) 1,752 人/年	1 日 6 人程度の利用 者数を維持。生活圏 を一体とする勝浦 市への移動手段を 確保するため、勝浦 市のデマンドタクシーの 乗り入れを行い、公 共交通不便地域の 解消、多様な目的に 対応する。
収支率 (※2)	エビアミー号の収 支率	13.8%	15.0%以上	利用者増による収 支率増を見込み
財政負担額 (※3)	公共交通に関する 市の財政負担額	18,638 千円	20,000 千円以下	事業実施による財 政負担の増が予想 されるが概ね基準 値を維持
交通結節点 の機能整備 (※4)	整備及び機能強化 を実施している交 通結節点の数	0 か所	2 か所	御宿駅、御宿町公民 館等を想定
他のまちづく り分野との連 携(※5)	観光や商業、福祉と 連携した協議及び 取組回数	0 件	1 件以上	新たな取組である ため 1 件以上とし て設定
利用促進の 取組(※6)	モビリティ・マネジ メント施策の取組	0 件	1 件以上	新たな取組である ため 1 件以上とし て設定

### データの取得方法

- ※1 東日本旅客鉄道(株)、小湊鉄道(株)提供データから毎年計測、御宿町統計データから毎年整理
- ※2 御宿町統計データから毎年整理
- ※3 御宿町統計データから毎年整理
- ※4 交通結節点の整備状況より毎年実績整理
- ※5 他分野との連携事業より毎年実績整理
- ※6 交通事業者連携事業より毎年実績整理

## 9. 実施事業及び実施主体

### (1) 計画目標を踏まえた実施事業

計画目標	実施事業
目標① 利用ニーズに即した 利便性の高い 交通ネットワークの形成	(事業1) 鉄道ネットワークの維持・活性化 実施体制：御宿町、鉄道事業者、近隣市町
	(事業2) 高速バスの維持・サービスの見直し 実施体制：御宿町、高速バス事業者、近隣市町
	(事業3) ①エビアミー号の利用促進・サービスの強化 ②勝浦デマンドタクシーの御宿町内への乗り入れ 実施体制①御宿町、エビアミー号運行事業者 ②勝浦市、御宿町、勝浦デマンドタクシー運行事業者
	(事業4) タクシー事業の維持・利用促進 実施体制：御宿町、タクシー事業者、近隣市町
目標② 誰もが利用しやすい 交通環境の整備	(事業5) 交通結節点の整備 実施体制：御宿町、交通事業者
	(事業6) 御宿駅のバリアフリー化の推進 実施体制：御宿町、鉄道事業者
	(事業7) 情報発信の強化、DXの検討 実施体制：御宿町、交通事業者、関係団体
目標③ 他分野、他産業との 連携による利用促進	(事業8) 商業や観光と連携した利用促進策の検討 実施体制：御宿町、交通事業者、関係団体・事業者
	(事業9) 福祉分野との連携 実施体制：御宿町、関係団体・事業者
目標④ 住民、交通事業者、 行政の協働による 持続可能な体制づくり	(事業10) モビリティ・マネジメントの検討・実施 実施体制：御宿町、交通事業者、住民
	(事業11) 運転手不足への対応 実施体制：御宿町、交通事業者、近隣市町
	(事業12) 地域住民主体による移動手段の検討 実施体制：御宿町、住民

事業3	①エビアミー号の利用促進・サービスの強化 ②勝浦デマンドタクシーの御宿町内への乗り入れ					
事業概要	<p><b>①エビアミー号の利用促進・サービスの強化</b></p> <p>エビアミー号は利用者の乗合率の向上が課題であることから、町内広報誌等への掲載による情報発信の強化や利用者のニーズに応じた料金設定、回数券の発行、運行時間帯等の運行サービスについて継続的に見直し、利便性を高めることで利用促進を図る。</p> <p>エビアミー号は主に高齢者の通院や買い物等の日常生活の移動を担っており、今後も高齢化の進行により、自家用車以外の移動ニーズが高まる中で、町内全域をカバーするエビアミー号は重要な交通手段である。一方、公共交通に関する財政負担は年々増加しており、自治体の努力だけでは維持が難しいことから、引き続き地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）を活用していく。</p> <p><b>②勝浦デマンドタクシーの御宿町内への乗り入れ</b></p> <p>生活圏を一体とする勝浦市への移動手段を確保するため、勝浦市のデマンドタクシーを御宿町内に乗り入れ交通不便地域の解消を図り、高齢者等の買い物や通院、広域交通への接続点につなげるなど、多様な目的に対応する重要な交通を維持する。</p> <p>交通不便地域等の解消と利用者要望を反映した公共交通体系を確保するため、自治体だけでは維持が困難なことから、地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）を活用し、持続可能な地域交通を維持する必要がある。</p> <p>また、その他地域についても地域間移動の利便性向上を図るため、必要に応じて他市町のデマンド交通の乗り入れの実施に向けた検討・協議を行う。エビアミー号の車両台数を増やす可能性も検討し、関係事業者や近隣市町との協議を行うこととする。</p>					
実施体制	①御宿町、エビアミー号運行事業者、②勝浦市、御宿町、勝浦デマンドタクシー運行事業者					
実施期間	項目	R6	R7	R8	R9	R10
	エビアミー号の利用促進・サービスの強化	計画・強化				
	勝浦デマンドタクシーの御宿町内への乗り入れ	協議→実施				



■地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）

系統名	起点	経由地	終点	事業許可区分	運行態様	実施主体	補助事業の活用
御宿町エビアミー号	—	御宿町内 16 か所の乗降場所	—	一般乗合	区域運行	御宿町（運行は交通事業者に委託）	フィーダー補助
勝浦市デマンドタクシー	—	<b>【勝浦市】</b> 勝浦地区内の共通乗降場所 <b>【御宿町】</b> 町内 10 か所の乗降場所	—	一般乗合	区域運行	勝浦市（運行は交通事業者に委託）	フィーダー補助

令和7年6月 日

(名称) 勝浦市地域公共交通活性化協議会

## 1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

勝浦市内の公共交通は、広域幹線として市南部を東西にJR外房線が通っており、北部及び東部に隣接する町との地域幹線として民間バス事業者によるバス路線が運行されている。これらの幹線系統が存在しない区域の公共交通を補完するため、平成14年からコミュニティバスが地域内フィーダー系統として運行されていたが、狭隘な道路事情と点在する交通需要を勘案し、平成26年9月よりデマンドタクシーの運行に移行された。

上記の公共交通機関は、勝浦市内における移動手段として、通勤、通学や通院、買い物等の市民の日常の足となり、生活交通手段として重要な役割を果たしている。

また、これまでの協議会において本地域における公共交通の利便性向上を図るため路線バスの再編とデマンドタクシーの運行拡大をあわせて協議を重ね、交通事業者との協議も行い、令和6年10月から勝浦市の運行するデマンドタクシーが生活圈を一体とする御宿町へ乗り入れを開始した。

これらの状況を踏まえ、公共交通空白地域・公共交通不便地域の解消と利用者要望を反映した公共交通体系の維持・改善のため、引き続き地域公共交通確保維持事業の活用によるデマンドタクシーの運行等、生活交通手段の確保を行おうとするものである。

## 2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

## (1) 事業の目標

- ・デマンドタクシー1日平均利用者数を15.0人/日以上とする。
- ・デマンドタクシーの利用者満足度を60.0%以上とする。
- ・デマンドタクシー運行収支率を10.5%以上とする。

(勝浦市地域公共交通計画 P85 参照)

## (2) 事業の効果

勝浦市の公共交通空白地域・公共交通不便地域を運行していた市民バスの車両では、きめ細かなルート設定がしにくく、山間地の狭い道路での走行も困難であったため、運行区域の延伸拡大による公共交通空白地域・公共交通不便地域の解消は難しかった。このため、デマンドタクシーを運行することにより、狭隘な道路を有する山間地域等も運行可能であり、分散している少需要に対応が可能となる。

また、デマンドタクシー運行拡大に伴い、地域間移動の利便性向上を図るとともに市街地商店街や生活圏を一体とする御宿町等へのアクセス性が向上し、買い物等を目的とする市民が増加することで、地域経済の活性化を図る。

## 3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

- ・デマンドタクシーの運行サービスの見直し（勝浦市・御宿町・交通事業者・地域）
- ・ICTを活用した効率性及び利便性の向上（勝浦市・交通事業者・観光関連施設）
- ・分かりやすい運行情報の提供（勝浦市・交通事業者・観光関連施設・商業施設）
- ・意識啓発を促す利用促進活動の展開（交通事業者・勝浦市・地域）
- ・モビリティ・マネジメントの推進による公共交通の利用促進（勝浦市・交通事業者・地域）

（勝浦市地域公共交通計画 P78・82・83 参照）

- ・勝浦デマンドタクシーの御宿町内への乗り入れ  
（勝浦市・御宿町・勝浦デマンドタクシー運行事業者）  
（御宿町地域公共交通計画 P52・54）

## 4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者

別添の表1のとおり

## 5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

地域公共交通確保維持事業によって運行の維持を図る運行系統について、その運行に係る費用総額 31,689,900 円（予定）のうち、勝浦市から運行事業者への委託料については、運行収入、国庫補助金及び御宿町負担金を運行経費から差し引いた差額分を負担することとしている。

## 【委託料】

1日当たりの委託料 108,900 円 × 運行日数（291 日） - 運賃収入 - 国庫補助金 - 御宿町負担金

## 6. 2. の目標・効果の評価手法及び測定方法

- ・利用者数や収支について、数値指標による評価を実施
- ・デマンドタクシー利用者アンケート

## 7. 別表1の補助対象事業の基準木ただし書に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要

## 【地域間幹線系統のみ】

※該当なし

8. 別表1の補助対象事業の基準二に基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧 <b>【地域間幹線系統のみ】</b>
※該当なし
9. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項 <b>【地域間幹線系統のみ】</b>
※該当なし
10. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要 <b>【地域内フィーダー系統のみ】</b>
表5を添付。
11. 車両の取得に係る目的・必要性 <b>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>
※該当なし
12. 車両の取得に係る定量的な目標・効果 <b>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>
(1) 事業の目標
※該当なし
(2) 事業の効果
※該当なし
13 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の総額、負担者とその負担額 <b>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>
※該当なし
14. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策） <b>【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>
※該当なし
15. 貨客混載の導入に係る目的・必要性 <b>【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>
※該当なし
16. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果 <b>【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>
(1) 事業の目標
※該当なし



## (2) 事業の効果

※該当なし

## 17. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

## 18. 協議会の開催状況と主な議論

## ■令和6年6月26日

- ・令和5年度協議会事業報告及び決算報告について報告
- ・令和5年度デマンドタクシー運行実績について報告
- ・協議会役員の改選について協議
- ・勝浦市デマンドタクシー運行業務について協議
- ・勝浦市地域公共交通計画の変更について協議
- ・令和7年度地域公共交通確保維持事業に係る地域公共交通計画認定申請書の提出について協議

※御宿町オブザーバー参加

## ■令和6年8月5日

- ・勝浦市地域公共交通運賃協議会の協議結果について報告
- ・勝浦市地域公共交通計画の令和5年度評価等結果について協議

## ■令和7年1月30日

- ・令和6年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について協議
- ・勝浦市地域公共交通計画の変更について協議
- ・勝浦市地域公共交通計画における実施事業の進捗状況について報告

## ■令和7年3月24日

- ・事業者協力型自家用有償旅客運送に係る実証運行業務について協議
- ・令和7年度協議会事業計画（案）及び予算（案）について協議
- ・地域公共交通計画推進業務について報告

## ■令和7年6月25日

- ・令和6年度協議会事業報告及び決算報告について報告
- ・令和6年度デマンドタクシー運行実績について報告
- ・「ノッカルかつうら」実証運行の状況について報告
- ・勝浦市地域公共交通計画に掲げる実施事業の進捗状況について報告
- ・デマンドタクシー利用者アンケートの実施について報告
- ・令和7年度地域公共交通確保維持事業に係る地域公共交通計画認定申請書の提出について協議

※全ての報告事項及び協議事項について了承又は合意が得られた。

※御宿町がオブザーバーとして参加した協議会については、御宿町からも了承を得ております。

## 19. 利用者等の意見の反映状況

デマンドタクシーの利用者アンケートの定期的な実施により、利用者意見・実態動向の把握に努めるとともに、令和4年度に実施した地域公共交通計画の策定に係る市民アンケートの結果を参考にし、デマンドタクシーの運行区域や運行時間の拡大など利便性の向上について検討を図り、市内の様々な団体の参画による本協議会での協議を経て、市民ニーズの反映に努めている。

## 【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 千葉県勝浦市新官 1343-1

(所 属) 企画課政策推進係

(氏 名) 忍足 俊樹

(電 話) 0470-73-6654

(e-mail) seisaku-k@city-katsuura.jp

注意： 本様式はあくまで参考であり、補助要綱の要件を満たすものであれば、この様式によらなくても差し支えありません。

実際の計画作成に当たっては補助要綱等を踏まえて作成をお願いいたします。

各記載項目について、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画を作成している場合には、当該計画から該当部分を転記したり、別添〇〇計画△節のとおり、等として引用したりすることも可能です。(ただし、上記2.・3.については、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画に定める目標、当該目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項との整合性を図るようにして下さい。また、地域公共交通計画全体として、協議会における協議が整った上で提出される必要があります)。

※該当のない項目は削除せず、「該当なし」と記載して下さい。

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者(地域内フィーダー系統)

令和8年度

市区町村名	運送予定者名	運行系統名等 (申請番号)	運行系統			系統 キロ程	計画 運行 日数	計画 運行 回数	利 便 増 進 特 例 措 置	運 送 継 続 特 例 措 置	地域内フィーダー系統の基準適合 (別表7・別表9・別表10)			
			起点	経由地	終点						運行態様の別	基準ハで 該当する 要件 (別表7・ 9)	補助対象地域間幹 線系統等と接続の 確保	基準ハで該 当する要件 (別表7のみ)
勝浦市 御宿町	エミスタクシー南 総株式会社	(1) 勝浦上野		勝浦 御宿		往 復 km km	291日	2619回			区域運行	②(1)	地域間交通ネットワーク である勝浦駅でJR外房 線と接続	③
	小湊鉄道株式会社	(2) 勝浦上野		勝浦 御宿		往 復 km km	291日	2619回			区域運行	②(1)	地域間交通ネットワーク である勝浦駅でJR外房 線と接続	③
		(3)				往 復 km km	日	回						
		(4)				往 復 km km	日	回						
		(5)				往 復 km km	日	回						

(注)

1. 乗用タクシニーによる運行の場合は、「運行系統名等」に運賃低廉化を行う運行サービスの名称を記載すること。
2. 区域運行又は乗用タクシニーによる運行の場合は、運行系統の「経由地」に営業区域又は運賃低廉化対象地域を記載することとし、「起点」、「終点」、「終点」及び「系統キロ程」について記載を要しない。
3. 「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらかの欄にキロ程を記載し、もう片方の欄に「循環」と記載すること。
4. 「利便増進特例措置」及び「運送継続特例措置」については、利便増進計画又は運送継続計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9又は別表10)を受けて補助対象となる場合のみ「○」を記載する。
5. 「運行態様の別」については、路線定期運行、路線不定期運行、区域運行、乗用タクシニーによる運行の別を記載すること。
6. 「補助対象地域間幹線系統等と接続の確保」については、地域内フィーダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークなどのように接続を確保するかにについて記載すること。
7. 乗用タクシニーによる運行の場合は、「運行系統名」「利便増進特例措置」について記載を要しない。
8. 本表に記載する運送予定系統を示した地図及び運行ダイヤを添付すること。乗用タクシニーによる運行の場合は、営業区域を示した地図を添付すること。

表5 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

市区町村名	勝浦市
-------	-----

(単位:人)

	人 口
人口集中地区以外	16,927
交通不便地域等	16,927

## 交通不便地域等の内訳

人 口	対象地区	根拠法
16,927	市内全域	半島振興法

地域公共交通計画、地域公共交通利便増進実施計画、地域旅客運送サービス継続実施計画の策定年月日及び

特例適用開始年度

計画名	策定年月日	特例適用開始年度
勝浦市地域公共交通計画	令和5年2月24日	

## (1)記載要領

1. 人口は最新の国勢調査結果を基に記載すること。ただし、地方運輸局長等が指定する交通不便地域の場合は、申請する年度の前年度の3月末現在の住民基本台帳を基に記載すること。
2. 「人口集中地区以外」の欄は、国勢調査結果により設定された人口集中地区に該当しない地区の人口を記載すること。
3. 「交通不便地域等」の欄は、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱(以下、「交付要綱」という。)の別表7(ハ②(1))に記載のある過疎地域の人口、交付要綱別表7(ハ②(2)(実施要領の2.(1)⑪))に基づき地方運輸局長等が指定する交通不便地域の人口及び交付要綱別表7リに基づき地方運輸局長等が認める地域の合計(重複する場合を除く)を記載すること。
4. 「対象地区」の欄には、当該市町村の一部が交付要綱別表7(ハ②(1))に掲げる法律(根拠法)に基づき地域指定されている場合に、根拠法ごとに当該区域の旧市町村名等を記載すること。また、地方運輸局長等が指定する交通不便地域等が存在する場合には、該当する区域名を記載すること。
5. 「根拠法」の欄は、交通不便地域を地方運輸局長等が指定した場合は、「局長指定」と記載すること。また、乗用タクシー以外での輸送が著しく困難であるものとして地方運輸局長等が認めた場合は、「局長指定(乗用)」と記載すること。
6. 「特例適用開始年度」の欄は、地域公共交通利便増進実施計画又は地域旅客運送サービス継続実施計画を策定し、特例を適用する場合に記載すること。

## (2)添付書類

1. 「人口集中地区以外の地区」及び「交通不便地域等」の区分が分かる地図を添付すること。(ただし、全域が交通不便地域等となる場合には省略可)

【運行系統】

【運行系統】

[illegible]

計画運行日数：291日 ⇒ 祝日・12/29～1/3を除く月曜日から土曜日  
※令和7年10月1日～令和8年9月30日

※表1の計画運行回数については、①エミタスタクシー南総(株)②小湊鉄道(株)の2社による運行で、均等に運行する予定となっているため、計画運行回数(5238回)を折半した回数(2619回)で算出しております。

### 運行区域

また通院、買物、公共施設利用の確保のため、鉄道駅、医療機関、商業施設、公共施設、御宿町内等に共通乗降場所を設置する。



# デマンドタクシー運行表(R7.10.1～R8.9.30)

運行日数 291

※【運休日】日曜日&祝日&12/29～1/3

令和7年10月							令和7年11月							令和7年12月							令和8年1月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2							1														
					2	3							2														
					3	4							3														
					4	5							4														
					5	6							5														
					6	7							6														
					7	8							7														
					8	9							8														
					9	10							9														
					10	11							10														
					11	12							11														
					12	13							12														
					13	14							13														
					14	15							14														
					15	16							15														
					16	17							16														
					17	18							17														
					18	19							18														
					19	20							19														
					20	21							20														
					21	22							21														
					22	23							22														
					23	24							23														
					24	25							24														
					25	26							25														
					26	27							26														
					27	28							27														
					28	29							28														
					29	30							29														
					30	31							30														
					31																						

令和8年2月							令和8年3月							令和8年4月							令和8年5月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2							1														
					2	3							2														
					3	4							3														
					4	5							4														
					5	6							5														
					6	7							6														
					7	8							7														
					8	9							8														
					9	10							9														
					10	11							10														
					11	12							11														
					12	13							12														
					13	14							13														
					14	15							14														
					15	16							15														
					16	17							16														
					17	18							17														
					18	19							18														
					19	20							19														
					20	21							20														
					21	22							21														
					22	23							22														
					23	24							23														
					24	25							24														
					25	26							25														
					26	27							26														
					27	28							27														
					28	29							28														
					29	30							29														
					30	31							30														
					31																						

令和8年6月							令和8年7月							令和8年8月							令和8年9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6				1	2	3	4							1							
			◎	◎	◎	◎					◎	◎	◎										◎	◎	◎	◎	◎
7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
×			◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎	◎
28	29	30					26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			
×	◎	◎					×	◎	◎	◎	◎	◎		×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎				

22

25

23

令和8年7月							令和8年8月							令和8年9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土

# 勝浦市予約制乗合タクシー 「デマンドタクシー」



## 勝浦市デマンドタクシー

電話1本で簡単にご利用いただけます。  
土曜日も運行していますので活用ください。

時刻表		運行日
迎車開始時刻		月曜日～土曜日
1便	前日予約 8:00	日曜・祝日・12/29～1/3を除く
2便	9:30	
3便	(上)11:00 (下)11:45	
4便	13:30	
5便	15:00	
6便	16:30	

### 運賃

大人:500円 中高生:200円  
運転経歴証明書所持者:200円  
障がい者手帳所持者、  
及び介護者:各200円  
小学生・未就学児:無料  
※小学生以下は保護者の同伴が必要です。

### 予約受付センター

(受付時間)

◆月～土曜日 8時～17時  
◆日曜・祝日 8時～15時

☎ 73-2040

### ご利用方法

#### 01 初めてのの方はまず登録

氏名・生年月日・性別・郵便番号・住所・連絡先

#### 02 利用手順

- ① 運行区域・乗降場所を確認
- ② 予約受付センターへ電話  
◆住所・氏名・連絡先  
◆利用する便  
◆希望の乗降場所  
をお伝えください。

③ 乗車場所でお待ちください。  
なお、乗り合いのため時間に余裕をもって予約してください。

### 予約時間

💡 1便を利用する場合  
前日の受付時間内に  
予約してください

💡 2便～6便を利用する場合  
迎車開始時刻の1時間前まで  
に予約してください

勝浦花子です。  
住所は上野〇〇番地で、  
連絡先は〇〇-〇〇〇〇です。  
24日の2便の予約で、自宅から  
〇〇病院までお願いします。

24日の2便のご予約を受け  
付けました。  
順番にお迎えに参りますので、  
ご自宅でお待ちください。

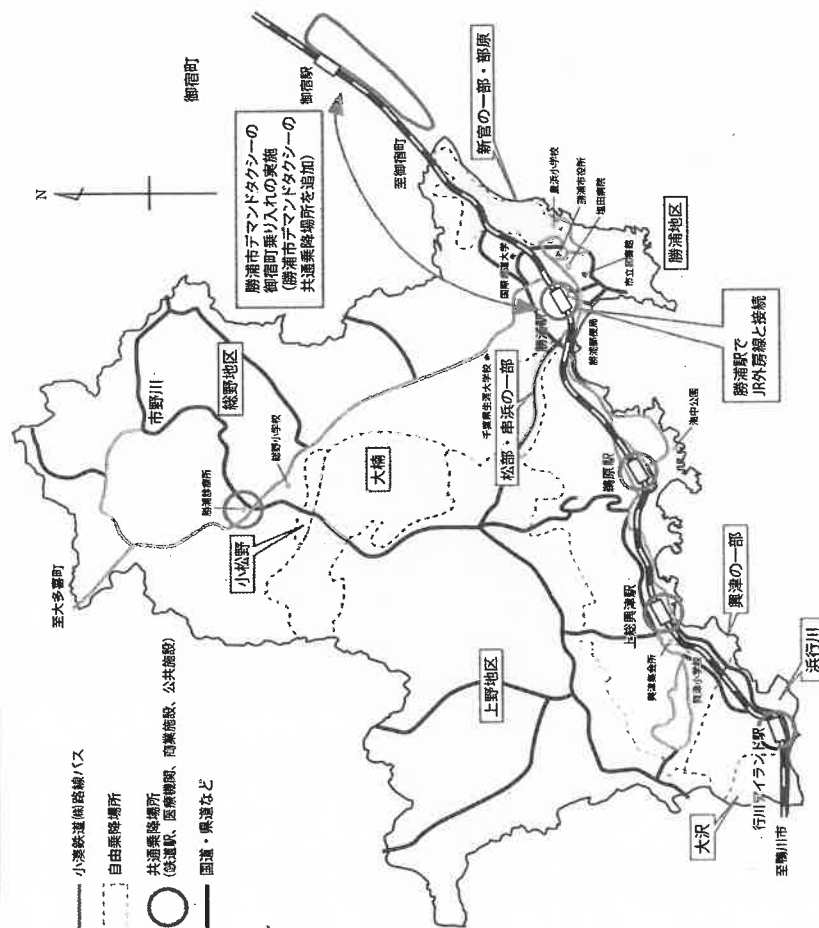
問い合わせ先 勝浦市 企画課 0470-73-6654 平日8時30分～17時15分





中國女子

デマンドタクシー運行区域マップ



乗車(乗る)場所	降車(降りる)場所	利用の可否	乗車(乗る)場所	降車(降りる)場所	利用の可否
上野地区(東武エリア)を終ぐ	自由乗降区域 共通乗降場所	○	赤羽駅特設乗降 【池袋市内】(池袋地区)【外】	自由乗降区域 共通乗降場所	○
大沢、武蔵行、東武の一部	【池袋市内】(池袋地区)【内】	○	【池袋市内】(池袋地区)【外】	自由乗降区域 共通乗降場所	○
小丸沢、大崎松原の一部	共通乗降場所	○	公共施設、医療施設等	共通乗降場所	○
松島・品川の一部	共通乗降場所	○	【池袋市内】(池袋地区)【外】	自由乗降区域 共通乗降場所	○
若宮の一部、品川	共通乗降場所	○	【池袋市内】(池袋地区)【内】	自由乗降区域 共通乗降場所	○
若宮地区(東武池袋線)	自由乗降区域 共通乗降場所	○	【池袋市内】(池袋地区)【外】	自由乗降区域 共通乗降場所	○
【池袋市内】(池袋地区)【内】	自由乗降区域 共通乗降場所	○	【池袋市内】(池袋地区)【外】	自由乗降区域 共通乗降場所	○
公共施設、医療施設等	共通乗降場所	○	【池袋市内】(池袋地区)【外】	自由乗降区域 共通乗降場所	○

共通乗降場所間の乗降は、乗車場所・降車場所の双方が●印のある共通乗降場所に限る。ただし、御宿町内での共通乗降場所では不可とし、御宿町内からの乗車については、勝浦地区「内」への降車に限る。）



## 令和7年度勝浦市地域公共交通計画推進業務 業務概要

## (1) 勝浦市地域公共交通活性化協議会の運営支援

地域の実情に応じた輸送サービスの実現のため「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき設置された勝浦市地域公共交通活性化協議会の活発な意見交換による機能強化のための運営支援を図るとともに、社会情勢等に応じた計画の見直しを行うことで、持続可能で利便性の高い交通網の形成を促進します。

## ■支援内容

- ・ 会議進行に係る助言・提案
- ・ 会議への出席及び質問への対応等
- ・ 会議資料の作成
- ・ 会議録の作成
- ・ 社会情勢等の変化に応じた地域公共交通計画の変更に係る助言・提案・資料作成

## ■会議のスケジュール（案）及び想定議題

	開催時期	議題（案）
第1回	6月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本業務で実施する取組事業について</li> <li>・ 本年度の全体スケジュールについて</li> </ul>
第2回	8月下旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乗り方教室及びお出かけツアーの開催案について</li> <li>・ 地域公共交通計画の進捗評価について</li> </ul>
第3回	11月中旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乗り方教室及びお出かけツアーの実施概要・結果速報について</li> <li>・ モビリティ・マネジメントに関するセミナーの開催について</li> </ul>
第4回	1月下旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合交通パンフレットの作成について</li> <li>・ 令和7年度地域公共交通確保維持事業の事業評価について</li> </ul>
第5回	3月中旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施したセミナー及びお出かけツアーのまとめについて</li> <li>・ 次年度以降の展開イメージ（計画改定含む）について</li> </ul>

## (2) 地域公共交通計画の進捗評価・見直し

地域公共交通計画に掲げる事業の進捗評価による計画推進を図るとともに、地域の実情に応じた計画の見直し等を行います。

## ①地域公共交通計画の進捗評価・見直し

地域公共交通計画の取組事業・計画目標の進捗・達成状況について評価するほか、計画目標の評価方法等の見直しを検討し、助言・提案・資料作成を行います。

## ②デマンドタクシー利用者アンケート調査まとめ

デマンドタクシー利用者に向け、アンケート調査を実施します（アンケート設計や配布・回収は、事務局が行う）。アンケート調査の集計・分析を行い、報告書を作成した後、本協議会で報告します。

### (3) 公共交通の利用促進に向けた取組の検討・実施

地域公共交通計画において、地域公共交通の維持・確保に関する市民意識の醸成を図ることを目的としています。このことから、公共交通における地域課題を共有するとともに、地域資源としての公共交通の有用性の理解促進を図るため、日常生活において主に自家用車を利用する市民等を対象に、公共交通を利用したツアーや公共交通乗り方教室等を実施します。

#### 《本業務と地域公共交通計画の位置づけ》

基本方針3：多様な主体との連携によるまちづくりと一体となった持続可能な公共交通を目指す  
目標⑤：地域全体で支える公共交通の構築

#### ① お出かけツアーの検討・実施

お出かけツアーを通じ、公共交通を利用しない人に乗車方法やメリットを知ってもらい、普段公共交通を利用しない方々の意識啓発を促す機会とします。お出かけツアーの実施内容は、昨年度実施予定のツアーをベースに予定しています。なお、いすみ鉄道の部分については、再考します。

#### 《本業務と地域公共交通計画の位置づけ》

事業12：意識啓発を促す利用促進活動の展開：モビリティ・マネジメント活動の展開

#### ■ ツアー概要 (案)

対象	勝浦市民在住の親子 (小学1～4年生)
開催時期	11月 休日のうち1回実施
定員	5組10人程度
参加者 募集方法	・周知用ポスターの作成・配布 ・市HPや公式SNS等での発信 ・市内小学校等での呼びかけ
参加者 アンケート	・ツアー全体の満足度 ・公共交通を利用して感じた良い点・改善点 ・今後の公共交通の利用意向、 利用するための条件 等

#### ■ 昨年度のチラシ

**勝浦市地域公共交通 お出かけツアー 参加者募集!!**

鉄道とバスを乗り継いで行く！公共交通の大冒険！

第1回 10/19 (土) 第2回 11/23 (土)

バスや電車をより身近に感じ、公共交通を生活に取り入れていきましょう。

普段できない特別な体験ができます!!

対象 勝浦市の小学1～6年生とそのご家族

定員 5組10人程度  
※定員に達しない場合は募集を中止します。

参加費 参加費はありませんが、交通費及び保険料はご自分で負担ください。  
※交通費 (大人) 1,320円 (子ども) 660円  
※お申し込みの人数により参加費 (1人あたり1,000円程度) を事前にお知らせします。

申し込み方法

■期間 9/19 (木)～10/7 (月) 正午

■会場 市民会館2階のフリースペース  
よりお申し込みください。  
※申し込みの受付は10月1日まで  
にメールにてお願いいたします。

8:30 勝浦駅集合

JR東日本 乗り方教室と駅員体験 等

9:45 勝浦駅発  
9:59 大森駅  
10:28 大森駅  
10:59 大森駅

いすみ鉄道 (小湊線)  
乗り方教室と大湊駅 (※) 体験 等  
※乗車を安全にするための大きな力になります。

12:10 昼食

小湊駅  
乗り方教室と運転手体験・乗車体験 等

14:25 大森駅集合

14:58 勝浦駅  
15:30 乗り降り・解散

※人混みにより、お申し込みの人数に達しない場合があります。  
※本日の申し込みは、勝浦市市民会館にお願いいたします。

お問い合わせ  
(主催) 勝浦市役所 企画課 政策推進課  
(協賛) ライトフレイン株式会社 勝浦営業所

TEL 0470-73-6654  
(FAX) 0470-73-6654

## ② 乗り方教室の検討・実施

将来的な利用者となる小学生を対象に、日常生活における公共交通の利用啓発を行う場として、乗り方教室を実施します。また令和8年度に小学校の統合が予定されていることから、通学手段の1つとして路線バスの活用が検討されています。このことから、通学の事前準備の機会として実施します。

実施方法については、事務局や教育委員会と協議の上、検討します。

### 《本業務と地域公共交通計画の位置づけ》

事業12：意識啓発を促す利用促進活動の展開 路線バスの乗り方教室の開催

#### ■実施概要（案）

対象	勝浦市内の小学生
開催時期	9月～3月のうち2回実施（市内小学校を2グループに分け実施） 《実施イメージ》 Aグループ：上野小、興津小 Bグループ：勝浦小、豊浜小、総野小
概要	勝浦市役所にて、バス車両を使用した乗車マナーやルール、車内における事故防止などを学習する乗り方教室の検討・実施
参加者 アンケート	・乗り方教室の満足度 ・今後の公共交通の利用意向、利用するための条件 等
協力事業者	・小湊鐵道バス

## （4）モビリティ・マネジメント等に関するセミナーの検討・実施

過度な自家用車に頼る生活スタイルの見直し及び公共交通の利用促進のほか、健康増進や環境対策として求められるCO<sub>2</sub>排出抑制に対する認識について地域全体で深めるため、市民や市内事業者等を対象にしたモビリティ・マネジメント等に関するセミナーを実施します。セミナーについては、昨年度の成果と反省点を踏まえながら、今年度も継続的にを行います。

また市内公共交通の利用促進を促すことを目的として、総合交通パンフレットを作成します。

実施方法については、事務局と協議の上、検討します。

### 《昨年度のセミナーの成果と反省点》

【成果】・県や周辺市町村職員も参加したこと。

- ・セミナーを通じて、公共交通への転換が必要と感じた方は参加者のうち約半数いたこと。

【反省点】・モビリティ・マネジメントとノックルのテーマが混在していたこと

- ・内容が行政よりであったこと

### 《本業務と地域公共交通計画の位置づけ》

基本方針3：多様な主体との連携によるまちづくりと一体となった持続可能な公共交通を目指す

目標⑤：地域全体で支える公共交通の構築

事業12：意識啓発を促す利用促進活動の展開 モビリティマネジメント活動の展開

# ■セミナー実施概要（案）

実施時期	2月
参加者	勝浦市民 等
募集方法	周知用ポスターの作成により、小学生向けの乗り方教室での周知や各自治会長への情報発信
実施方法	現地参加
申込方法	参加申込フォームを作成
登壇者（案）	勝浦市、学識経験者 等
プログラム （案）	※検討中 案1：学識経験者によるモビリティ・マネジメント講義の実施 案2：公共交通パンフレットを用いた意識啓発及び利用促進に資する勉強会の実施
参加者 アンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通利用への転換の必要性</li> <li>・自家用車利用から公共交通利用へ転換可能な外出行動</li> <li>・本セミナーにおける満足度</li> <li>・次回開催時における講話内容 等</li> </ul>